

13

木にさわってゲームを楽しもう！

と き だ
玉城町立外城田小学校



森のせんせいの紹介



クップの紹介



クップに挑戦中

ねらい

- ・森林から産出された木が加工され、身近なものに使われていることを知る
- ・薪を使った遊びから始まったゲームの「Kubb（クップ）」を知る
- ・木を使ったゲームで楽しく運動をする

取組内容

まず児童は、多目的室で森や木の働き、人工林、緑の循環、クップなどについてクイズを交えながら説明を聞き、森林の大切さを学ぶことができました。また、キャリア教育として林業のやりがいについての話もありました。

その後、森のせんせいからクップのルールや使う道具の素材、クップの魅力について説明を受けました。そして児童は5～6人の8チームに分かれ、実際に運動場でクップ競技を行いました。どのチームもクップを倒す方法や投げる順番など作戦を考えていきました。相手チームのクップを倒すと、チームみんなで喜び、楽しく競技をすることができました。競技後の感想の中には、木と木がぶつかり合う音が気持ちよかったという声もありました。さらに、クップは2021年開催の「三重とこわか国体」のデモンストレーション競技になっていることもあり、参加してみたいと思う児童もたくさんいました。

森のせんせいの話やクップを通して、木の大切さや魅力について学ぶことができました。

【先生のコメント】 森のせんせいの話から、木の大切さや林業をしている方の思いを学び、社会科の国土や産業の学習への関心を高めるきっかけになりました。

また、クップの体験では、尾鷲ヒノキにふれ、ヒノキの木の感触や重さ、木と木がぶつかる音などを楽しみながら活動をすることができました。

内 容	・木の話 ・クップ体験
時 間	1 時間 30 分 (2限)
場 所	多目的室、運動場
対 象	5 年生 46 人
講 師	森のせんせい：三重県クップ協会
備 考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した町事業「森林環境教育支援業務」